

第6学年 図画工作科（イメージング学習）

1 単元名 Lantern festival（夢灯祭り）

2 単元について

（1）単元の目標

○切り抜いた模様や色の交わりを効果的に使って、光が透過する美しさを表現したり、自分や友達の表現の違いやよさに気付いたりすることができる。

【知識・技能】

○夢灯の雰囲気合う模様や色の組み合わせを考え、光が透過する様子をイメージしながら作ったり、鑑賞を通して友達との感じ方の違いを味わったりすることができる。

【思考・判断・表現】

○切った模様を透過する光や、光に反射する色の交わりを生かした活動の面白さや、自分や友達の表現の工夫を感じ取ることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

（2）単元についての考え

本学級の子供たちは、何事に対してもよりよいものにしたいという思いをもって、意欲的に取り組んでいる。図画工作科の授業では、どのようにすればよい作品になるかを考え、何度も工夫を凝らして試したり、教師に繰り返し尋ねたりする子供も多い。自分のアイデアが浮かばずに手が止まってしまったときには、表現力が豊かな友達にアドバイスをもらい、作品を工夫してみるなど、子供たち同士でやりとりをしながら活動をする姿が見られる。

本題材では、岩手県田老町で祭りのシーズンに盛んに作られている夢灯を扱う。夢灯は、身近な材料で作ることができ、作業手順もわかりやすいため、子供たちにとっても親しみやすい題材であると考えられる。

牛乳パックに模様を描いて切り抜き、灯ろうの形に整えて内側を着色することで、光が反射して美しい光を放つのが夢灯の特徴である。導入時に、秋田県大仙市で活動している「夢灯プロジェクト」の活動記録から写真や動画を参照する。夢灯を作ることへの期待や作品のイメージをもたせることで、単元を通して自分たちの作品を客観的にとらえながら、作品作りに取り組ませたい。

夢灯のデザインを考える際にアイデアが思い浮かばなかったり、より一層イメージを広げたりできるように、身近なところに隠れている模様を探す時間を設ける。タブレットにインストールされているアプリケーションやインターネット、本、校内の探検など、表現したいものや模様に近いものを見つけたら参考にしてよいことを伝える。

本題材の作業において、子供たちにとって初めての体験となるのがカラースプレーによる着色である。作業をする際に、スプレーの使い方や色の交わりなど、子供たち同士のやりとりが活発になると考えられる。一瞬一瞬の感動を互いに伝えられるように振り返りの時間を設け、次時の活動に生かせるようにする。

このような活動を通して、自分らしく表現する楽しさや、他者と協力する喜びが感じられるような展開や場づくりを工夫していく。

（3）単元におけるESDの視点

東京オリンピックの開催、インターネットやSNSの普及、交通機関の発達等、様々な要因から急速にグローバル化が進んでいる現代の日本では、今後、国内外問わず多くの場面で、多国籍の人々と関わる機会が増えていくだろう。特に、外国の人たちとやり取りをするときに話題になりやすいのは、出身地についての話である。多文化を知る以上に日本の文化を深く知ることが、スムーズなコミュニケーションにつながると考える。コミュニケーションを通して、それぞれの文化の違いや

よさに気付くことが、本当の異文化理解と言える。

本題材では、日本文化の一つである灯ろうを用いた岩手県の伝統工芸である夢灯を扱うことで、新たに日本の文化を体験し、鑑賞を通して日本文化のよさを味わわせたい。さらに、友達との交流を通して、自分にはない見方や表現の仕方に気付かせ、よりよい作品作りに生かせるような活動を行う。

以上のようなことから、本単元におけるE S Dの視点を以下のように設定した。

○構成概念 : I 多様性「いろいろある」 V 連携性「力を合わせて」
○能力・態度 : ③多面的・総合的に考える力 ⑦進んで参加する態度
○めざす姿 : 相手の作品のよいところや自分の作品との違いに気づき、伝え合いを通して感じ方の違いを味わうことができる。

(4) めざす姿に迫るための手立て

掲示やICT機器の活用による視覚化

- 黒板に学習の流れを掲示し、単元や本時の流れを明確にすることで、毎時間の学習の見通しをもたせるようにする。
- 作業の手順、技法や道具の使い方などをピクチャーカードやプレゼンテーションソフト、大型提示装置を用いて示すことで、児童が英語での表現の仕方や説明を理解し、活動できるようにする。
- 活動中はピクチャーカードや簡単な会話表現を壁面に貼ったり、プレゼンテーションソフトを用いて大型提示装置で投影したりして英語での表現をいつでも確認できるようにする。
- 作業の手順を動画で撮影して学級の共有フォルダに保存しておき、作業の仕方が分からない児童がいつでも確認できるようにする。

伝え合う場の設定

- 毎時間の活動中や活動後に互いの作品を鑑賞する時間を設ける。友達の作品のよいところや自分の作品との違い、自分の作品に生かしたいことなどを相手に伝え、次時の活動に生かせるようにする。できるだけ多くの作品に触れ、多様な意見をもらったり伝えたりできるように、交流するペアは毎時間変わるようにする

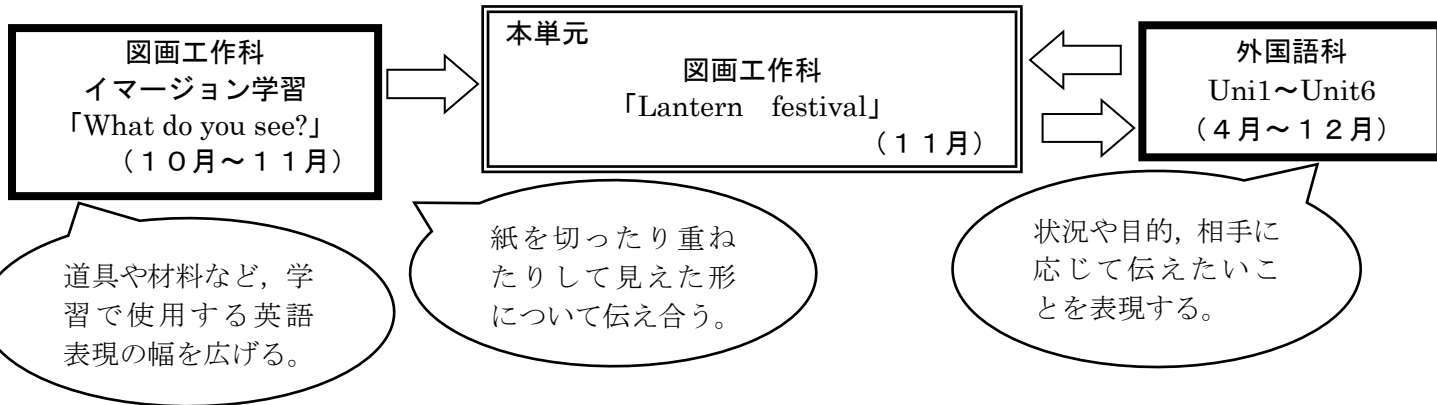
デモンストレーション

- 本題材では、はさみやのり、カッターなどの使い慣れている道具だけでなく、児童にとっては初めてスプレーを使って作業を進めていくことになる。これらの使い方について、英語で説明しながら実演し、児童と共に作業することで、道具の使い方に関する英語の表現と作業の手順を確認できるようにする。
- 作品の感想を伝え合うときの会話表現は、定型文を提示したりデモンストレーションを実施したりすることでスムーズなやり取りができるようにする。

机間指導の充実

- 児童の様子を見ながら、英語と日本語の両方を使って声を掛けるようにする。積極的に英語を使おうとする児童に対しては、文を単位とした表現を使って工夫や作品への思いを尋ね、やり取りを広げるようにする。英語に対して不安をもつ児童に対しては、簡単な単語やジェスチャーを使って、日本語を交えながら話すことで、安心して質問したり、英語を使ったりできるようにする。

3 本単元と他教科との関連



4 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 表現したい模様に合わせて切り抜いたり、色の交わりや反射を効果的に使ったりして、光の美しさを表すための工夫をしている。 ② デザインの工夫や光によって生み出される美しさを感じながら、自分や友達の表現の違いやよさに気付いている。	① テーマの雰囲気合う模様や色合いを考え、作りたい夢灯のイメージを広げている。 ② 夢灯の雰囲気合う模様や色の組み合わせを考え、工夫して作っている。 ③ 牛乳パックの切り抜き方を工夫したり、カラースプレーの色の交わりや土台の反射を試したりして、工夫しながら作っている。 ④ 友達の作品を見て、模様の表し方や色の交わりによさや友達との感じ方の違いを味わおうとしている。	① 作品作りに興味をもち、身の回りにある模様や素材を見つけて、テーマ決めや作品のデザインに生かそうとしている。 ② 切った模様を透過する光や光に反射する色の交わりを生かした活動の面白さや、表現の工夫を感じ取っている。

5 単元の全体計画（全6時間）

学習過程（時数）	指導上のポイント	評価規準	準備物
ねかせ (外国語科)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英語での会話に親しむ。 ・授業や学校生活で使う身の回りのものの英語での言い方に慣れる。 		
第1時	○夢灯の完成イメージをもち、デザインのもととなる素材を探そう。 <ul style="list-style-type: none"> ・夢灯について知り、今後の学習の見通しをもたせるために写真や動画を見せる。 ・デザインのもととなる素材を探すにあたって、身の回りにあるものや生き物、幾何学模様などを参考にしてよいことを伝える。明確なテーマがある児童は、インターネットを使って参考となる資料を探してもよいことを伝える。 	■思考・判断・表現① ■主体的に学習に取り組む態度①	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置 ・タブレット ・作品見本 ・ランタンフェスティバルに関する資料（プレゼンテーションソフト）

<p>第2時</p>	<p>○テーマを決めて、夢灯のデザインを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの雰囲気に合う模様を考えるように伝える。 ・ワークシートに、自分が使いたいカラースプレーの種類を書き、色鉛筆で塗っておくようにする。 ・作品への感想を伝え合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■知識・技能① ■思考・判断・表現② 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・色鉛筆 ・牛乳パック ・タブレット
<p>第3～5時</p>	<p>○自分が考えた夢灯を、明かりがともった様子を想像しながら工夫してつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボン紙の使い方について指導をする。 ・下書きをもとにカッターを使って牛乳パックを切れるようにする。 ・カッターを使うときの手首や腕の動かし方について安全指導をする。 ・カラースプレーの色の交わりの美しさに気付けるよう実演をする。 ・光を反射させるために土台にアルミホイルを巻き付けることを伝える。 ・作品への感想を伝え合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■知識・技能①② ■思考・判断・表現③ ■主体的に学習に取り組む態度② 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・カーボン紙 ・ボールペン ・はさみ ・カッター ・カッター板 ・ボンド ・ホチキス ・アルミホイル ・ビニールテープ ・牛乳パック ・カラースプレー ・黒スプレー ・新聞紙 ・LEDライト(暖色)
<p>第6時 6/6 中野学級</p>	<p>○自分や友達作品のよいところや工夫したところを発見しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に向けて、自分の気持ちや工夫してつくったことなど伝えさせる。 ・友達作品のよいところや思ったことを伝える。 ・みんなで作品をゆっくり見合う時間をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■思考・判断・表現④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・LEDライト(暖色) ・タブレット

6 本時の指導 (6/6)

(1) 目標

自分や友達作品に関心を持ち、夢灯に明かりがともった様子に感動しながら、作品に対する思いを伝えることができる。

(2) 評価規準

〈思考・判断・表現〉自分や友達作品に関心を持ち、夢灯に明かりがともった様子に感動しながら作品に対する思いを伝えている。

(3) 中心となる英語表現

<p>【単語】</p>	<p>材料・道具 scissors, cutting knife, cutting mat, color spray, black spray, light, aluminum foil, stapler, vinyl tape, bond, milk carton, tablet, carbon paper, newspaper, worksheet, color pencils</p>
--------------------	--

	技法 形容	fold, cut, put on, stick together, put in, spray cute, cool, funny, scary, gorgeous, strong, beautiful
【表現】	活動	<ul style="list-style-type: none"> • Help me, teacher. • What's this? • Just moment • I can't ○○. <ul style="list-style-type: none"> • I have a question. • I want (to)○○. • One more time, please.
【Sharing time】	自分の作品紹介 友達の作品紹介 聞き手	<ul style="list-style-type: none"> • This is my Lantern. • What do you see? – It's ○○ • How do you feel? – It's ○○ • Thank you • I like 名前's Lantern. • It looks like ○○. /It's ○○. (○○は見たものを伝える) • How do you feel? • Thank you • ①と②を組み合わせで気持ちを伝える ① It's ○○/ What a ○○/ How ○○. ② nice/ wonderful/ cool/ great/ cute/ beautiful/ colorful. ③ It looks like ○○. (○○は見たものを伝える)

(4) 展開

時配	学習活動と内容 (T:教師 S:児童)	指導上の留意点(○図画工作科●言語)と ■評価の観点	準備物
5	<p>1 Greeting (あいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今の気分, 曜日, 日付, 天気 <p>T: Good morning. How are you? S: I'm (feeling). T: How is the weather today? S: It's (weather). T: What day is it today? S: It's Thursday. T: What's the date today? S: It's November 26th.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本時の活動内容の確認 <p>T: Let's enjoy Lantern Festival</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●曜日・日付・天気などの会話をして, 英語で学習する雰囲気づくりをする。 ●提示装置で本時の流れを投影し, 学習の見通しをもたせるようにする。 ① Warm-up (word check) ② Appreciation time ③ Sharing Time (part1) ④ Sharing Time (part2) 	<ul style="list-style-type: none"> • 提示装置 • プレゼンテーションソフト • タブレット (教師用)
1	<p>2 Check today's goal (めあての確認)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Let's enjoy Lantern Festival ! 夢灯祭りを楽しもう !</p> </div>		
	<p>3 Appreciation time (鑑賞する)</p>		

<p>1 0</p> <p>1 2</p>	<p>・感動したときに使う英語表現の確認をする。 T : Let's check expressions when you get impressed.</p> <p>・鑑賞時の約束の確認をする T : Let's check the rules in appreciation time. We have four rules. ① Small voice (小さい声で) ② Up to 2 people (2人まで) ③ Take own time (ゆっくりみる) ④ Find your favorite (お気に入りの作品を見付ける)</p> <p>鑑賞前</p> <p>T : Are you ready? Put your Lantern on the table and turn on the light. T : Let's go around and watch your friends Lantern.</p> <p>鑑賞中</p> <p>T : Did you find your favorite? S: Yes I did. / Not yet. T : Which Lantern do you like? S : I like 名前's Lantern.</p> <p>鑑賞後</p> <p>T : Bring your Lantern and gather in front.</p> <p>4 Sharing Time part1 (交流) (自分の作品を紹介する) ・紹介の仕方について教師がデモンストレーションを行う T : Now, I'll show you how to introduce the Lantern.</p>	<p>○一人一人が作品と向き合い、友達作品をじっくりと味わいながら鑑賞する。 ●感動したときに使う英語表現の確認をする。ワードリストとしてプレゼンテーションソフトで示し、下記の①と②の表現を組み合わせて使えるようにする。 ①It's ○○/ What a ○○/ How ○○ ② nice/ wonderful/ cool/ great/ cute/ beautiful/ colorful. ○提示装置で鑑賞の流れを投影し、鑑賞時の約束の確認をする。</p> <p>○全員が夢灯を点灯できたかどうかを確認してから、体育館の電気を消す。 ●活動中はプレゼンテーションソフトで英語での表現を投影し、いつでも確認できるようにする。</p> <p>●児童の様子を見ながら、英語と日本語の両方を使って声を掛けるようにする。 ●積極的に英語を使おうとする児童に対しては、文を単位とした表現を使って、工夫や作品への思いを尋ね、やり取りを広げるようにする。英語に対して不安をもつ児童に対しては、簡単な単語を使って、やりとりをし、安心して質問したり、英語を使ったりできるようにする。 ○体育館の電気は、半分だけ付ける。 ■友達の作品のよいところを見付けている。(発言)</p> <p>○鑑賞をして感じたことを言葉にして相手に伝える活動であることを伝える。 ○紹介するときに使う英語表現、リアクションや活動の流れなど、プレゼンテーションソフトで示す。 ●児童が英語での表現の仕方がわかるように提示装置を使って聞き手のワードリストを示しておく。</p>	<p>・作品 ・光源</p>
-----------------------	---	---	--------------------

紹介の仕方

- This is my Lantern.
- パターン1 (見えるもの・デザインしたものを伝える)
It's ○○. It's △△.
How do you feel?
- It's □□.
- パターン2 (相手に何が見えるか尋ねる)
What do you see?
- It's ○○.
How do you feel?
- It's □□.

- 5人一班になって活動を行う
- T: Let's make groups of five.
Do janken, then decide the order.

5 Sharing Time part2 (交流)
(友達の作品を紹介する)

T: From now, we will share our favorite Lantern.

紹介の仕方

- I like 名前's Lantern.
It's ○○. It's △△.
It looks like ××.
How do you feel?
- It's □□.
Thank you 作者の友達の名前

- 5人一班になって活動を行う
- T: Do janken, then decide the order. Let's start!

6 Farewell (片付け・挨拶)

聞き手のワードリスト

- ①と②の表現を組み合わせて使う
①It's ○○/ What a ○○/ How ○○
②nice/ wonderful/ cool/ great/ cute/ beautiful/ colorful.
- It looks like ○○.

- 班ごとに発表ができているか確認する。
- 児童一人一人に積極的に関わられるように、できるだけ全員がリアクションできるようにする。
- 紹介に困る児童には、一緒に紹介したいところを考えたり、単語を伝えたりして支援をする。
- 自分の作品の工夫したところを伝えている。(発言・行動観察)

- 児童が英語での表現の仕方がわかるように提示装置を使って聞き手のワードリストを示しておく。

聞き手のワードリスト

- ①と②の表現を組み合わせて使う
①It's ○○/ What a ○○/ How ○○
②nice/ wonderful/ cool/ great/ cute/ beautiful/ colorful.
- It looks like ○○.

- 自分の作品との違いに気付き、友達の作品のよいところを伝えている。(発言)

• ワークシート

10

7

<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書く <p>T: How do you feel today's lesson? S: I ○○.(感想を発表する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする <p>T: That's all for today. Have a nice day! S: You too!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的に感想を述べたい場合は、日本語を使ってもよいことを伝える。 	
---	---	--

(4) 場の設定 (板書計画)
(板書計画)

Let's enjoy Lantern Festival !
夢灯祭を楽しもう !

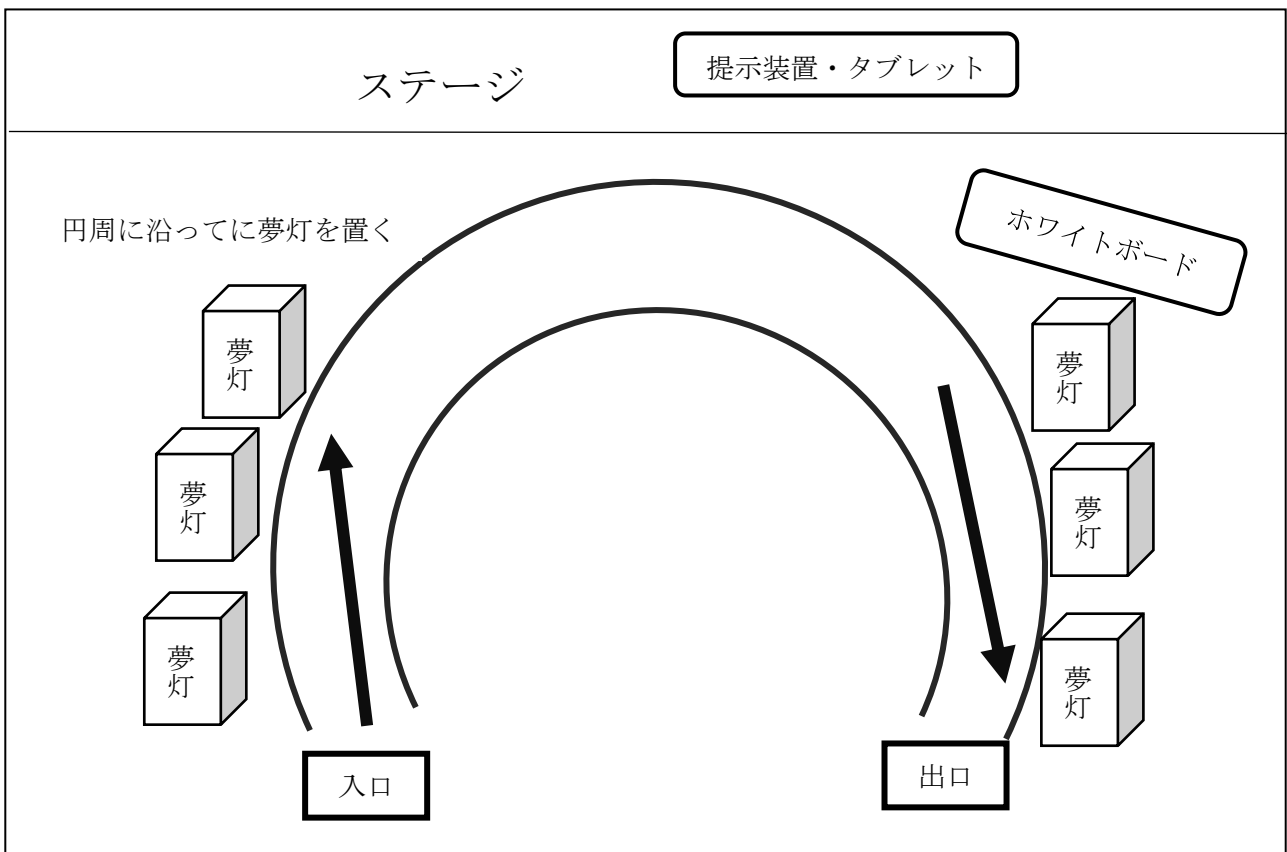
Today's step

- ① Warm-up (word check)
- ② Appreciation time
- ③ Sharing Time (part1)
- ④ Sharing Time (part2)

word list

- ・①+②
- ①It's ○○/ What a ○○/ How ○○
- ②nice/ wonderful/ cool/ great/ cute/
beautiful/ colorful.
- ・ It looks like ○○.

< 体育館 Appreciation time (鑑賞) >



ステージ

提示装置・タブレット

発表者

夢灯

グループ 1

グループ 2

グループ 3

聞き手

グループ 4

グループ 5

グループ 6

グループ 7

グループ 8